

もりのにぎわい通信

2023年2月25日 定例活動報告

日時：2023年2月25日（土）9：00～16：00

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 5～12℃ 湿度 54% 風向 北西 風速 4.4m/s

参加者：49人：子ども 10人、大人 39人（内土地改良区3人）

■活動

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:30 後片づけ・午前の部解散

13:10 井戸掘りの再開

16:00 後片付け・解散

■活動報告

前回定例（1月28日）に続き本日も49人というたくさんの参加者でにぎわい活気あふれる定例会でした。今回特筆すべきは新しく始めた井戸掘りプロジェクトで今回は初日です。打ち抜き井戸という人力による井戸の試みです。

バランス21の佐藤さんから紹介いただいた安房高校の安齋先生と生徒さん5人が遠さもいとわず来てくれました。生徒さんは館山から土気に来るわけですが蘇我周りで9時15分到着予定が内房線事故のため外房線周りに切り替えて9時40分の土気駅到着となりました。結局2時間くらいかかって土気駅に到着したとのことでした。安齋先生は船橋から車で来られて購入済みの機材を現地に降ろして9:15分くらいで金井の車と2台で土気駅に迎えに行きました。元気のいい高校生の構成は生物部の2年生が1名、1年生が4名ということでした。

現地に到着すると早速場所決めをし、1m×2m方くらいの大きさを深さ1.4mくらいを目標にシャベルとトンビ鍬で掘り始めました。1.4メートルくらい掘れたところで、塩ビで作った井戸掘り機が登場します。尖った井戸掘り機の内側には掘った土や泥を戻してしまわないように弁が付いていて、パイプごと引っ張り出しては、この中身を外に捨てるようにできています。

これを2人がかりで突いて沈めていきます。突いているうちに穴の下の方に水が溜まるようになり、すわ水が出たかと喜んだのですが、地面の中には浅い所にも不透水の層がいくつもあり水の層は小さい、一定以上掘ると大きな水の層に当たる可能性が高いのもっともっと掘り進むのだと安齋先生に発破をかけられました。この掘削作業の2mばかり脇では、二人の高校生がペアで4mの井戸枠の一番下の50cmくらいの部分にインパクトドライバーで1.5mmの穴を1cmごとに開ける作業をしていました。丸いパイプを動かないように抑えているのは力があるし直角にビットを突き立てていくのもたくさん穴を開けるとなると力も根気も必要です。それに細いビットは抜き差しするとき曲がると折れてしまうよう

で、用意してきた3本が折れてしまいました。買い出しにビバホームに行ったら、なんと在庫が店頭にはぶら下がっている2本しかありませんでした。「何がホームセンターだ？足りなくなったら茂原まで買い出しに行くことになるな」と心配しました。お昼前の作業はこの辺までで終了となりました。

一方、苗木の森プロジェクトのメイン作業はコナラとスギの混合林ゾーンの枝打ちに続く一連のものです。作業の分担は①鋸を使って枝を切り落とす人②落とされた枝を集積場まで運ぶ人③その枝の中から薪になりそうなところを選別して薪の束に切り揃えて置く作業をする人の共同作業になりました。伐採枝はかさばってリヤカーや一輪車の使用はあまり役に立ちません。結局のところズルズル引きずっていくのが効率が良いのかもしれませんが、それでもあちこち引っ掛かって、結構労力が必要です。

切り出しゾーンから集積場まで何度も往復しなければなりません。今回は東京海上さんの大人6名、子供3名の参加がありとても助かりました。土気NGOさんからも3人のヘルプがありました。前回定例の燃やしきれない伐採枝の山に加えもう一つ大きな山ができてしまいました。これ燃やすのは大変なんです、消防署の許可をもらわなければなりませんし、防火用水400Lを用意し、しっかり消えるまで帰れませんし。

お昼は水炊きが出されました。たっぷりの鶏肉からの出汁が豆腐とキャベツの具にからんでとてもおいしいものでした。若い胃袋にも好評で何度もお代わりがされていたようです。

午後は井戸掘りの関係者だけとなりましたが結構たくさんの方が残っていました。井戸掘り機でかなり進んだところで、用意しておいた10cm径の井戸枠を建てこみました。この枠で崩れてくる土砂を防ぎ、この中で井戸掘り機につながっている2.5cmの塩ビ管を繋いでいって掘り進めていきます。

井戸枠が上から叩けるほど十分に沈んだら大きな木槌で叩き込みます。これも経験の差が出て先生のカケヤは実に適切に振られてずんずん枠が入っていくように見えました。そこからは井戸掘り機でズンズンと掘る。重くなってきたら井戸掘り機とそれにつながる塩ビ管を取り出して、井戸掘り機の中の土や石や水を出す。つまり、井戸枠の中にある土をどけていくわけです。ある程度いったら、井戸枠を木槌で叩いて枠をさらに沈めていく。これをずっと繰り返していって16mくらいいけば水脈に辿り着くというのが今のプランです。

4時ごろには温度もやたらと下がってきて寒くてしかたがない状況になってきて、4mの井戸枠が大方埋まったところで作業終了としました。安齋先生の評価では3.7mくらい掘れているので作業進捗は速い方だということです。本日の到達点には皆さん満足して終了としました。安齋先生、安房高校の皆さん、宮原さん、土気NGOの仲村さん・宇野さんご夫妻、横田さんご一家、星野さんご夫婦、和田さん、皆さん本当にご苦労様でした。

★子どもたち…基地だったはずのところが井戸に変わったようです。こっちの方が先に水が出るんだと頑張っていました。本当に随分深くなっていました。

(記録：金井章男)

.....
お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、3月25日(土)(雨天の場合3月26日(日))除草作業、苗木の枝の剪定、間伐材の片づけ(焼却を含む)を行う予定です。尚、コロナ禍の為、活動時間は午前9時~12時までとします。

井戸掘り作業は3月31日(金)を予定しています。興味のある方は奮って参加下さい。



集合写真



伐った枝の集積場までの運搬作業



コナラ・スギエリアの枝打ち作業



集積場に積まれた伐った枝の山



コナラ・スギエリアの枝打作業



薪用に集積場にある枝を細かく切る作業



水炊き準備中



秘密基地作り 井戸掘り?



井戸掘り作業 穴掘り作業開始



4mの井戸枠下側のドリルでの穴あけ作業



井戸掘り機を使い井戸掘り開始





4 mの井戸枠設置



井戸掘り機により井戸掘り継続



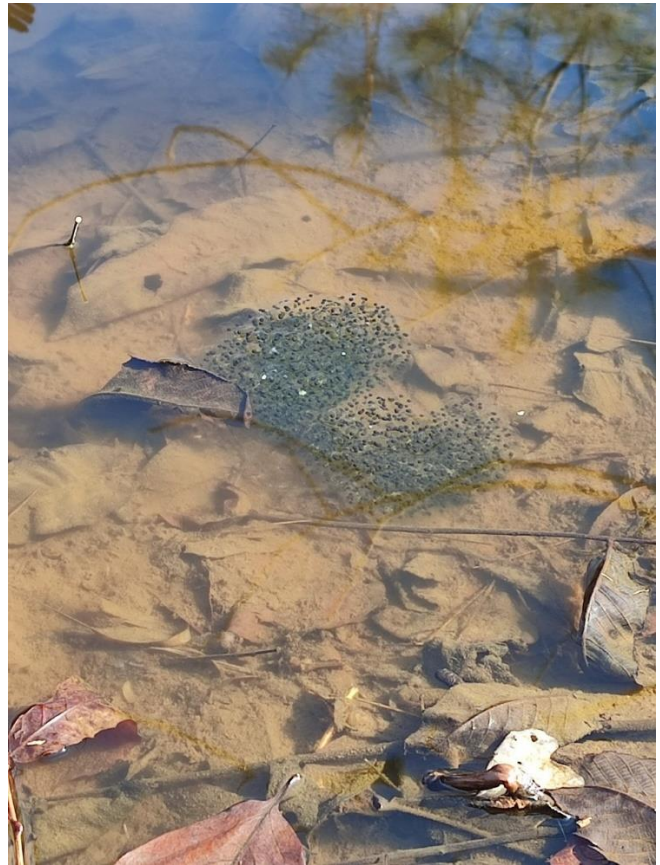
寒くなったので、焚火を用意。



4 m掘った時点で本日の作業終了



水炊き 美味しそう



ニホンアカガエルの卵塊